



開館5周年記念特別展

# 海流に魅せられた島 天草

◎会期／2011年6月6日(月)～7月13日(水)

## 祈りの原点とキリシタン文化

◎主催／西南学院大学博物館

◎協力／天草市立天草キリシタン館

船の科学館・海と船の博物館ネットワーク

### 開催概要

島国天草は、海流を利用した生活を営み、国内外から多くの文物が行き交っていました。天草島民にとって「海」と「船」が島内の生活を支えており、こうした環境ゆえに、島特有の文化が根付いていました。天草島で暮らしていた島民を支えたものにはなにがあったのでしょうか。

本展覧会では「海」と「船」、「信仰」を切り口として天草島の姿を現地資料や発掘遺物などから紹介していきます。本展覧会を通じて、天草を舞台におこなわれた海外交流、さらには島民の生活と文化、そして信仰の実相を理解してもらえれば幸いです。



### ◇展示構成

#### I. 海流融合の地 天草

四面を海で囲まれた島、天草は多くの古地図に登場します。なかには中国人が作成したものまであり、東西文化が融合した地「天草」は広く認識されていたのです。



〔主な資料〕  
南蛮船模型(天草市立天草キリシタン館蔵)  
天保国絵図(画像)(国立公文書館蔵)など

#### Ⅲ. 弾圧とその果てに

天草に浸透していたキリスト教も幕府の宗教政策の影響を受けていくことになります。天草島民も多数参加した島原・天草の乱は、キリスト教を拠り所に集結し、幕府に抵抗したものでした。そして、乱後に残ったのは密かに信仰を守る島民の姿でした。

〔主な資料〕  
天草四郎陣中旗(複製)(原品国指定重要文化財)  
(天草市立天草キリシタン館蔵)  
鶴田一郎氏「天草四郎 祈り」  
(天草市立天草キリシタン館蔵)など



#### Ⅱ. 天草島と文化の芽生え

天草島にアルメイダ神父が訪れたことによって、新しい文化の萌芽がありました。天草学林が設置され、ここでは新しい出版物が発刊されます。また、信仰のあり方も意識されるなど島民の姿にも変化があらわれてきたのです。

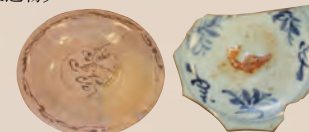
〔主な資料〕  
アルメイダ像デッサン  
(天草市立天草キリシタン館蔵)  
メダリオン(天草市指定文化財)  
(天草市立天草キリシタン館蔵)など



#### Ⅳ. 海外交流の姿

中世天草には中国をはじめベトナム産の陶磁器が行き交っていました。島国ながらも大陸と交流していた姿は発掘遺物からも明らかです。島として孤立しておらず、躍動した天草の姿を垣間見ることができます。

〔主な資料〕  
ベトナム産鉄絵大甌(河内浦城跡出土遺物)  
(天草市教育委員会蔵)  
景德鎮系青花(棚底城跡出土遺物)  
(天草市教育委員会蔵)など



### 行事予定

2011(平成23)年

#### 【企画展／特別展】

6月6日(月)～7月13日(水)  
九州のキリスト教シリーズⅢ  
海流に魅せられた島 天草 ー祈りの原点とキリシタン文化ー  
〔場所〕西南学院大学博物館1階特別展示室、2階講堂

7月15日(金)～10月25日(火)  
シーボルト著「日本」にみる近世NIPPON ～年中行事～  
〔場所〕西南学院大学博物館1階廊下 2階講堂

11月2日(水)～12月10日(土)〔予定〕  
イコンー東西聖像画の世界  
〔場所〕西南学院大学博物館1階特別展示室、2階講堂

#### 【講演会など】

6月18日(土)14:00～16:00  
第9回特別展関連公開講演会  
●「海流に魅せられた島 ー天草ー」……安高啓明氏(本学博物館学芸員)  
●「海の領主天草五人衆と関連遺跡出土陶磁器」中山圭氏(天草市教育委員会学芸員)  
●「天草とキリスト教」……松本博幸氏(天草キリシタン館学芸員)

シンポジウム  
テーマ「天草島における海外交渉とキリシタン文化」  
司 会：高倉洋彰氏(本学博物館長)  
パネリスト：安高啓明氏(本学博物館学芸員)  
松本博幸氏(天草キリシタン館学芸員)  
中山圭氏(天草市教育委員会学芸員)  
〔場所〕西南学院大学博物館2階講堂

#### 【2011年度ワークショップ】

6月25日(土)10:00～12:00  
船のペーパークラフトをつくろう  
〔場所〕西南コミュニティセンター

8月27日(土)10:00～12:00  
ドージャー探検隊 十字架(クロスマーク)のあかさをさがせ  
〔場所〕西南学院大学博物館

9月17日(土)10:00～12:00  
せいなんミュージアムカードをつくろう  
〔場所〕西南コミュニティセンター

10月8日(土)10:00～12:00  
みんなで仮装しよう! ミュージアムでハロウィンを  
〔場所〕西南コミュニティセンター

12月10日(土)10:00～12:00  
松ぼっくりでクリスマスツリー  
〔場所〕西南コミュニティセンター

### 2012年

3月3日(土)10:00～12:00  
2000年前の生活体験 勾玉をつくろう  
〔場所〕西南コミュニティセンター

その他、幅広いニーズに合わせて団体見学会等も実施しております。  
なお、予定は変更することもございますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

## 西南学院大学博物館

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号  
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室  
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

●開館時間のご案内

開館時間 / 10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 / 毎週日曜日、夏期休暇(8/10～8/16)

キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28-1/5]

入館料 / 無料

### 来館者掲示板

中学の卒業生です。院試のために京都から来ました。聖書関係のお宝の数々に驚き、懐かしいきしみ音を味わいながら2階の礼拝堂に入って泣きそうになりました。懐かしいにおい!懐かしい手触り!入学してからまたゆっくり楽しませてもらいます。  
(2011/02/26 M-Iさん 20代)

高校、大学の卒業生です。おそらく高校以来きました。2階の雰囲気、なんだか涙がでるほどなつかしい。残してくれて本当に感謝。ここが西南生にとって本当に大切な場所であることをもともと伝えていってほしいです。  
(2011/03/12 Iさん 20代)

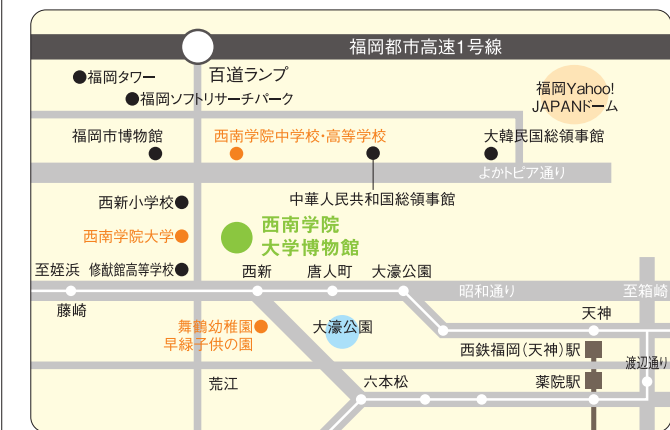
母校が懐かしく感ぜられました。旧チャペルが立派に残されてうれしく思います。  
(2011/03/27 Yさん 50代)

パイプオルガンすてきな音色でした。また来ます。今日は家族で来ました。夫婦で西南卒業生です。とてもなつかしく思いました。  
(2011/04/29 ご夫婦 30代)

今回は、来館者ノートに綴られた、同窓生のみなさまの思い出をご紹介いたしました。多くの方から在学中のお話をうかがう度、同窓生のみなさまにとっても、当館が大切な財産となっていることに感動しております。



### アクセスマップ ACCESS MAP



- 福岡空港 → 西新駅下車……約17分
- 博多駅 → 西新駅下車……約12分
- 天神 → 西新駅下車……約8分
- ※地下鉄西新駅(3番出口)から徒歩5分
- 博多駅バスセンター → 修験館前……約35分
- 天神 → 修験館前……約20分
- ※修験館前バス停から徒歩5分
- 福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学……約25分
- 博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学……約20分
- 天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学……約15分

# News

## 西南学院大学博物館ニュース

Volume 07 2011.6

発行 西南学院大学



グーテンベルグ42行聖書「エゼキエル書」(複製)  
〔西南学院大学博物館所蔵〕

## 旧約聖書の三大預言書 特集 グーテンベルグ42行聖書 「エゼキエル書」(複製)

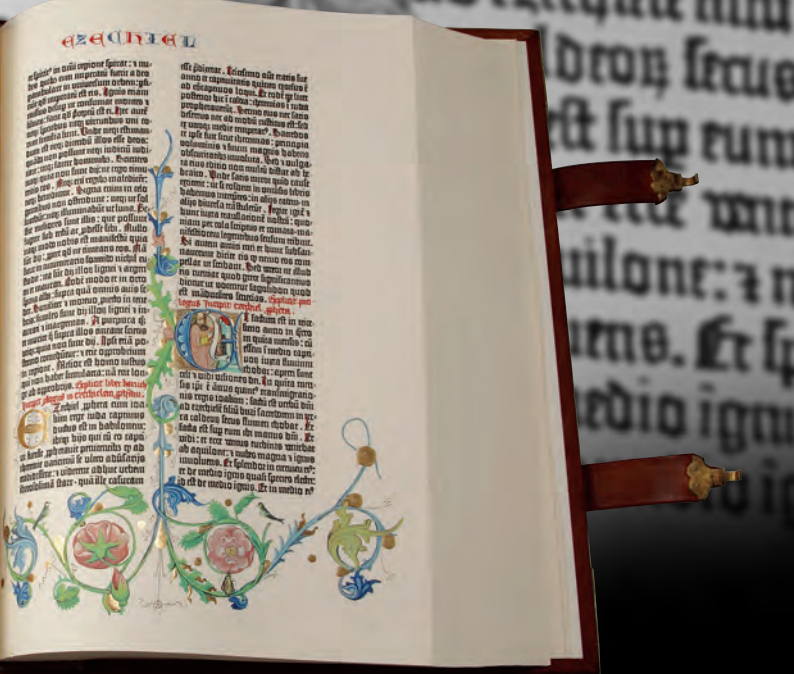
博物館紹介◎ 講堂

特別展紹介 海流に魅せられた島 天草 祈りの原点とキリシタン文化

所蔵品紹介 グーテンベルグ42行聖書「エゼキエル書」(複製)

大学博物館紹介⑦ 九州産業大学美術館

大学周辺情報◎ 歴史ある西南の松 ～西南メインストリート～





SEINAN GAKUIN  
1920  
博物館紹介

## 講堂

大学博物館の2階には講堂があります。階段を昇り、扉を開けると、正面に三芯アーチという独特で緩やかな弧を描いたプロセニウム・アーチが施された講壇が目に入ります。プロセニウム・アーチとは講壇(舞台)と客席を区切った構造のことです。客席からは講壇が縁どって見えることから、ここを額縁舞台ともいいます。客席部分にはこれまで使われていた一枚板の黒い長椅子(約3.5m)を敷き詰めており、当時の面影を残していま

す。これまで講堂も数度にわたり改築されていましたが、大学博物館開館にあわせて、建築当時の姿に復元しています。天井からつるされている照明も、残されている古写真などから再現しています。左右対称のジョージアン・コロニアル・スタイルが表現された講堂では、開放感のなかにも重厚感のある雰囲気を感じることができます。



客席からみた講壇



講壇から客席をのぞむ



趣のある八角形の支柱

### 【大学博物館紹介⑦】

## 九州産業大学美術館

九州産業大学は芸術学部を中心に美術工芸、絵画、彫刻、デザイン、写真などの作品を収集してきており、点数は約700点に及びます。これらの作品群を活かして芸術教育研究に役立てるとともに、学外にもその成果を公開する目的で2002年4月1日に開館しました。年に8~9回ほど企画展が実施されて、その内容は所属する大学教授の作品展や卒業作品展、

美術館所蔵品展をはじめ、大学卒業生による展覧会などもおこなわれています。

展示活動ばかりでなく、子どもから高齢者までを対象としたワークショップを数多く実施しています。「ひとものこと」を活用しながら、地域の文化芸術の振興に尽力しています。また、大学美術館は①芸術教育の拠点、②地域交流の拠点、③海外交流の拠点として幅広く活動しています。なお、博物館相当施設として、博物館実習の場としても利用されています。

開館時間 / 10:00~17:30(最終入館は17:00まで)  
休館日 / 月曜日、お盆、年末年始  
連絡先 / 〒813-8503福岡県福岡市東区松香台2丁目3番1号  
TEL 092-673-5160 FAX 092-673-5757  
URL / http://www.kyusan-u.ac.jp/ksumuseum/



### 所蔵品紹介

## グーテンベルグ42行聖書 「エゼキエル書」(複製)

旧約聖書の三大預言書



聖書を彩る挿絵

「エゼキエル書」は、「イザヤ書」や「エレミヤ書」とならんで旧約聖書の三大預言書を構成しているものです。エゼキエル自身が編集したとされ、3部から構成されています。1部はユダとイスラエルに対する審判予言集、2部は諸国民に対する審判予言集、3部はイスラエルの救済予言集となっています。グーテンベルグ聖書は15世紀にドイツのグーテンベルグが活版印刷術を用いた世界初の印刷聖書です。ルネッサンス期の三大発明は、火薬・羅針盤・活版印刷術で、この印刷術を発明したのがグーテンベルグです。1455年頃に出版した

もので、300万字以上を印刷するために、290字の異体活字が用いられ、そこには当時の手書きのときに用いられた略字や融合形、特殊形の文字が含まれています。また、装飾にこだわっているのも特徴のひとつとなっています。

日本には1582(天正10)年に日本を出発した天正遣欧使節団が、1590(天正18)年に帰国した際にグーテンベルグ印刷機を持ち帰っています。これにより、島原の加津佐、さらには天草でも活版印刷がおこなわれ、多くのキリストン版という書物が出版されました。

## 学芸員の眼 — 5年を振り返る —

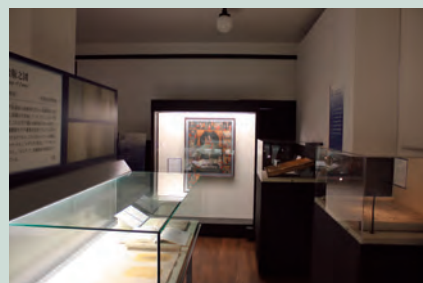
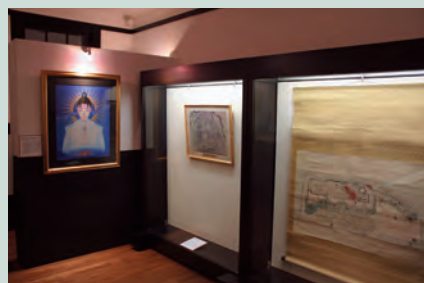
本学博物館は今年5月に開館5周年を迎えました。本学学生はもとより、地域住民の方や外国人の方など、多くの来館者に恵まれています。全国の大学博物館の共通使命でもある「社会への開かれた窓」として、本学博物館の取り組みが浸透してきたあらわれだと感じています。5年を振り返ると、博物館事業の基本である特別展は、現在開催中の展覧

会を含めて9回目となりました。シリーズ企画として「九州のキリスト教」や「ジュダイカ・コレクション」展を実施しています。また、展覧会開催期間以外には、ミニ企画展をおこなっております。これからも、新しい情報や成果を発信し、10年後の大学博物館像を考えながら取り組んでいこうと思っています。

博物館学芸員 安高啓明



’07.05~’09.06の特別展ポスター 「海流に魅せられた島 天草」展示風景(’11.06~07)



「海を渡ったキリスト教」展示風景(’10.11~12)

## 博物館通信

2011年3月11日に発生した東日本大震災で被災された多くの方々に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復興を祈念いたしております。

西南学院大学博物館

- 2010年度は13,662人の来館者がありました。
- 2011年3月、本学博物館の安高啓明学芸員が単著「新釈犯科帳」第一巻(長崎文献社、2011年)を刊行しました。
- 2011年度春季特別展「海流に魅せられた島 天草」は、船の科学館・海と船の博物館ネットワークからの助成が決まりました。
- 2011年度より3ヶ年、大学博物館の取り組み「大学博物館における高度専門学芸員養成事業」が学内GPに採択されました。
- 4月1日(金)、西南学院大学入学式が挙行されました。
- 4月22日(金)、2011年度新任職員研修がおこなわれました。
- 5月18日(水)、西南学院小学校3年生66名が来館されました。
- 5月28日(土)、筑紫女学園大学学芸員課程の教職員と学生51名が来館されました。

## スタッフの声

東日本大震災が発生し、数ヶ月が経ちました。今なお大変な思いをされている方々のことを思い、遠く離れた福岡に住むわたしたちに、なにができるかを考えています。

「日本は必ず復興する。それは歴史が証明してくれる。」先日のチャペル講話において、当館の安高学芸員が言った言葉です。博物館は、直接的には、暮らしに役に立つような場所ではないかもしれませんが、日々の暮らしの中でも、歴史が教えてくれること、気づかせてくれることは多々あります。そういった点から、歴史や文化を伝える役割を持つ博物館は、とても大切な使命を持っていると感じ、私もその中の一員として、しっかりとした信念をもって日々励んでいきたいと思っています。

博物館臨時職員・国際文化研究科博士後期課程 平川知佳

西南のキャンパスを歩くと、松の木の存在感に気づきます。西南のスクールカラーは、テラベルト・グリーンですが、それは松の緑に由来しており、また、校歌にも「松の緑、青春の色」という文句が出てきます。松の木は、西南の象徴とも言えるでしょう。

昔、西南のキャンパス一帯は、百道松原と言われていました。それは、1618年(元和四年)、福岡藩主黒田長政が家臣に命じ、百道の浜に、松を植林させたのが始まりです。近隣の町家一戸につき松一本を植え付けさせ、それがいつしか繁殖し、美しい松林を形成させていました。

西南メインストリートに立ち並ぶ松の大きな木は、その名残であり、歴史的にも非常に価値があるものとされています。また、そのうちの13本が、福岡市の保存樹に指定されています。

松の木々は、遠い昔よりたくましくそびえ立ち、西南がこの地に誕生してからは、西南の歴史とともに、学生たちの青春を見守ってくれています。

博物館臨時職員・国際文化研究科博士後期課程 平川知佳



## 歴史ある西南の松

【大学周辺情報⑦】  
西南メインストリート